

なきごえ

200号記念
特集号



1982

4

大阪市
天王寺動物園協会

「なきごえと私」



松岡 恵爾

なきごえ発刊 200号の記念号に当り発刊当時の苦労談をという依頼を受けました。

昨日のように思われるこの月刊紙が早や200号にもなっている

ことを改めて知らされると只々感慨無量です。

さて昭和40年に動物園は開園50年を迎え、何か記念すべき式典をとすることは関係者の一致する願いでしたので、年頭からいろいろの試案がとりざたされていました。

これらの諸案を具体化するとなると仲々難関があり、市政に合致するルートに乗せるに当っては事務担当の方々の御苦労は大変なものがありました。当時各メーカーが自社の宣伝を兼ねて春秋に任意に催していた入園者に対するサービスに着目された当時の経営係長佐藤忠行氏は、中央売店の松永恒夫氏(初代会長)の協力を得て、現在の動物園協会の前身といえる動物園協力会の名に於てこれらを統合し、協力会という統一された体制のもとに動物園祭が1ヶ月催されることになりました。その中心に市が行う式典が挙行されるという骨子が確定しました。この計画には、新世界商店会も協力、今の地下鉄恵美須町駅付近には歓迎門が設けられ、街路は動物園祭ののぼりや小旗で飾られることになりました。

このような状況のもとで、協力会は機関紙を持たなければということが提唱せられました。私どもは兼ねてから動物園活動に機関紙の必要性を痛感していましたので異論のある筈はありません。早速実行に移すための会合が持たれました。出席者は中川、

なきごえ4月号もくじ

「なきごえと私」	2
“17才を迎えるシシオザル”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
“未来の夢の動物園”	6・7・8・9
府立大阪博物場の動物檻	10・11・12・13・14
動物園ニュース	15

佐藤、米田、大西、樽本(敬称略)と私でした。

さて理想と現実、月刊紙ともなると、職制による担当業務もあり、且つ未経験による不安もあって、前向きながら大変難産であったことを記憶します。

それでも各位の努力により初刊は式典にやっと間に合い、昭和40年4月に発刊されましたが、今の“なきごえ”と比べると甚だ幼稚なものでした。それから毎月の締切に追いかける羽目になりました。

予定原稿が間に合わず穴うめに対する苦労、中でも現飼育係長の樽本君は写真を一手に引き受けていましたので、これ又自宅での徹夜の現像焼付で眼を腫らして、口を尖がらしての出勤もたびたびでした。若いうちの苦労は買うてもせよ!!と励ましたのも今は思い出の一つです。

そのうち、キーパー諸氏も原稿に協力してくれるようになり徐々に巾が出来上って来ました。

天王寺動物園はめぐるしい大都市の中の自然です。そこからのニュース即ち“なきごえ”は市民への安らぎの贈り物だと思います。特に今年1月号の市長夫人の御原稿は大変楽しく拝見しました。戦後産卵が途絶えていた特別天然記念物のタンチョウが、関係者のたゆまぬ努力により、みごと産卵ふ化に成功、その子供達が世界一流のサンディエゴ動物園に大阪市の名において贈られたという誠に素晴らしい記事でした。

繁殖は飼育の最終目標ではありますが、野生動物は家畜のように簡単に繁殖はしてくれません。従ってたゆまぬ技術の研鑽によって、都市動物園という不利な条件を克服し、明るいニュースを“なきごえ”を通じて、どんどん市民に還元するよう一層の御努力を願って筆をおきます。

(株式会社アニマ〔通称いきもの110〕指導部長)

(元 天王寺動物園飼育課主査)

表紙の写真説明

“ベニジュケイ”

友好都市上海市から送られてきたキジの仲間です。四川省、雲南省等に産し、繁殖期にはオスは写真のように極彩色の肉垂れをのびし、まるで京劇のメイクさながらです。当園では3年連続順調な繁殖をしています。

(撮影：中川 哲 男)



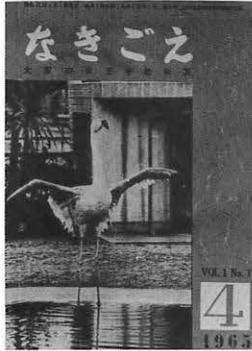
“17才を迎えるシシオザル”

通巻200号を迎えた「なきごえ」の創刊されたのが昭和40年です。この年に生まれた動物の中で、現在も健在なのはこのシシオザル(メス)だけになりました。過去に2頭出産しており、その内の次男と現在一緒に暮らしています。(撮影：柴田 稔)

動物園グラフ

なきごえ “200号のあゆみ”

創刊号から最近号まで表紙を通して 200号のあゆみを追ってみました。レイアウトこそ変わりませんが、その時々表紙をかざった動物たちの思い出がうかんできます。なきごえ 200号の歴史は、そのまま園の歴史でもあります。



↑ 1965年4月に何とか動物園の広報紙を出したいという願いが実現し、「なきごえ」が産ぶ声をあげました。「なきごえ」の紙名は、職員の間で公募し、動物たちの「鳴声」を紙面から聞いていたかどという意味のことです。



↑ 開園50周年の記念行事が行なわれた年で合併号で増頁し、動物園のあゆみなどを特集しました。



↑ これまでは動物園協会の発行でしたが、この年の4月から財団法人動物園協会の発行となりました。もちろん、編集など一切はこれまでと同じように飼育係の手づくりのものに変わりありませんでした。



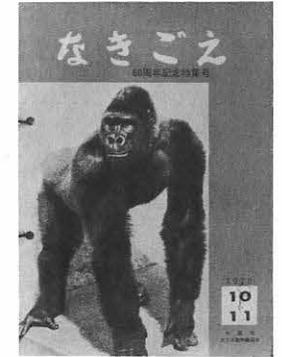
↑ クロサイの赤ちゃんが初めて生まれ、表紙をかざりました。



↑ この4月からこれまでの8頁から12頁に増頁しました。原稿集めや写真撮影など更に大変となりました。この年の11月号で、100号となりました。



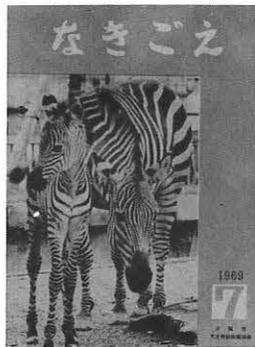
↑ 中国との動物交流がはじまり、表紙をかざることも多くなりました。写真は、74年に入園したモロコレイヨウ。



↑ 開園60周年記念特集号として増頁して60年の園の歴史と将来の動物園を語る記事をのせました。



↑ 創刊から3年たち、内容もかなり安定したものになりつつあった。万博をひかえて、園の西側に高速道路の建設や、動物舎の改造などいろいろな忙しい時期でした。



↑ 表紙の色も3ヶ月ごとに変えたり、写真も赤ちゃんの写真を入れるなどニュース性をとり入れたりしました。



↑ 万国博一色の年で、毎号各国から贈られた動物たちの写真や記事で一ぱいでした。



↑ ニュージーランドから贈られたキーウィの飼育が一年を経過しましたので、この特集号に外国での飼育例などをのせました。



↑ 編集スタッフも増えて分業できるようになりました。



↑ 職員による飼育記事や野生鳥獣の観察記事、外国動物園の見聞記など手づくりの味が各号に見られるようになりました。



↑ 78年から表紙の色は、年間を通して統一しました。表紙は、メルボルン動物園から贈られた、ワライカワセミ。



↑ 最近号、表紙は中国から再度贈られたクロオオカミ、創刊以来17年目に入った「なきごえ」。表紙のレイアウトは変わらないが、内容に歴史を感じさせる。

2・3月の動物園日記

- 2 / 21. 冬眠中のアカミミガメが1頭、冬眠からさめました。
レアのオスが尿酸沈着症で死亡しました。
- 2 / 22. ワシミミズクが産卵しました。
- 2 / 23. トカラヤギが2頭誕生しました。
- 2 / 25. エミュウが産卵しました。今シーズン15卵目です。
- 2 / 28. コンドルが産卵しましたが、惜しくも破卵

でした。

- 3 / 1. シュバシコウとコウノトリの巣台に柳の小枝を巣材用に入れてやりました。
- 3 / 2. フクロウが産卵しました。
- 3 / 3. 昨年生まれのアシカの仔1頭を離乳のため収容室に隔離しました。これで昨年の仔は2頭共、収容室でアジの餌付け中です。キングペンギンが産卵しました。
- 3 / 5. 京都市動物園からムササビ(メス)1頭の寄贈がありました。

- 3 / 7. メンヨウが1頭(オス)誕生しました。
- 3 / 8. オーストラリア・シドニーのタロンガ動物園のThrop園長さん他2名の方々が来園されました。
- 3 / 11. パーバリーシープの三仔が生まれましたが、2頭は惜しくも死亡しました。人工哺育中のアカカンガルーの成育は順調で、体重は2800gになりました。
- 3 / 12. 人工ふ化中のエミュウが1羽ふ化しました。オランウータン(サツキ)の妊娠鑑定を行

いましたが、陰性でした。

- 3 / 16. 治療のため隔離していたシマウマ(オス)がすっかり回復したので、元の群に戻しました。
- 3 / 17. オセロットが交尾しました。
- 3 / 18. アオダイショウが産卵しました。
- 3 / 19. 離乳のため隔離中の2頭のアシカの内、1頭が少しずつアジを食べ始めました。

座談会 “未来の夢の動物園”

小学生による

動物園のお客さんの主役は、なんといっても子供たちです。そんな子供たちによる“未来の夢の動物園”と題する座談会を行ないました。出席は昨年のサマースクールに参加した子供たちで、サマースクールの思い出や未来の動物園について語りあってもらいました。

- | | |
|-------------------|----------|
| 出席者：大阪市天王寺動物園長 | 橋本 一郎 |
| 大阪市立吉野小学校 | 5年 小林 孝行 |
| 大阪市立姫里小学校 | 5年 河野 虎男 |
| 大阪市立森ノ宮小学校 | 5年 角田 宏樹 |
| 大阪市立東小路小学校 | 6年 安藤 幸 |
| 豊中市立北丘小学校 | 6年 志田 道栄 |
| 大阪市立高松小学校 | 6年 樽本 祥子 |
| 大阪市立東井高野小学校 | 6年 天藤 幸子 |
| 司 会：大阪動物園ボランティアーズ | 宮谷 尚子 |



§ サマースクールの思い出

司会：“なきごえ”が200号になるということで座談会を行ないます。テーマは“未来の夢の動物園”ということですが、まずは去年のサマースクールの感想を聞かせて下さい。

志田：サマースクールではカンガルーの班で、ボランティアの先生が袋の中の赤ちゃんの写真を見せてくれました。



樽本：おとどしは

橋本園長

は虫類の班で、スナボアというヘビに触ったり、カメに餌をやったり、ゾウガメに乗せてもらったりしました。去年はサイの班でスケッチをしたりしました。

小林：ネコ科動物で、ライオンの抜けた毛に触ったり、スケッチしたりしました。またオオカミのスケッチをしたり寝室も見せてもらったりしました。

安藤：私はは虫類の班でした。

司会：サマースクールでしたことだけでなく、こうすればよかったと思うようなことはありますか。

河野：ネコ科の班でしたが、トラの仔を

見せてもらったとき、触ろうと思ってみんなが押し合いをして、ちょっとしか触れなかったので、順番に触ればよいと思いました。ライオンの毛をもらったりしてよかったです。

天藤：カンガルーの絵を書いていたとき、友達もいっしょでしたが、その友達が犬を飼っていたので、カンガルーも犬みたいに抱いたりでき



小林孝行 君

るとよいなあと思いました。

司会：サマースクールについて、こうしてほしいということはありませんか。

志田：動物に餌をやらしてもらいたかった。



司会：他にそういう意見はありませんか。何が一番やりたかったですか。

河野：サマースクールを3日間だけでなくもっと長くして、簡単な動物の飼育をやらしてほしい。

司会：サマースクールの一日目は動物園で動物を見てまわり、2日目は研究発表で、3日目は自然史博物館へ行きましたが、博物館はどうでしたか。

天藤：社会見学で自然史博物館へ行ったことがありましたが、恐竜なんかを見ただけでしたけれど、カンガルーの骨格標本などは気がつきませんでした。

サマースクールではいろ

河野虎男 君

ろいろ説明してもらえてよかったです。

河野：ぼくは自然史博物館の友の会に入っていて、映画会などのときに館内を見たりしたけれど恐竜を見てあんなに大きいのかなあと思った

ぐらいで、サマースクールのほうが詳しく説明が聞けた。

司会：サマースクール以後、動物園へ来たことがありますか。

河野：サマースクール以後来ていないけれども、もし友達といっしょに来たら、説明して自慢できるからサマースクールに来てよかったです。

司会：ヘビに触らしてもらった人もいますが、ヘビに対するみかたは変わりましたか。

樽本：触る前は、気持ちが悪いと思っていたけれど、触った時は、冷たくて気持ちがよかったです。もうひとつうれしかったことは、友達にすごく物知りだと言われたことです。

§ 現在の動物園に対する意見

司会：それではサマースクールの感想は終って、現在の動物園の良い点、悪い点、希望などはありますか。

角田：鳥の前でごはんを食べていたら、糞の臭いがしてくさかった。葉か何かをまぜて何とかできないうちでよいかな。

天藤：オランウータンが、すみの方にいて動かないでおもしろ

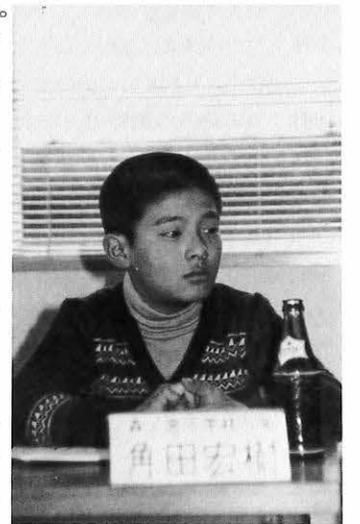
角田宏樹 君

くなかった。また、タヌキやキツネの柵が高く動物が見にくいから見やすくしてほしい。

河野：動物はオリに入れず、ライオンなんかは慣らしてサファリのように車に乗ったり、歩いて行ったりして見に行けるようにしたらよい。

志田：河野君に質問ですが、ライオンなどに食べられる動物はどのようにして食べられないようにするのですか。

河野：種類ごとに別けて、食べられないようにします。



樽本：私は動物資料館のようなものを作ってほしいと思います。

志田：資料館とは何ですか。

司会：剥製や資料を展示する動物園の博物館みたいなものですね。

樽本：はいそうです。

志田：捨ネコや捨イヌの施設を動物園に作ってほしい。

小林：ウサギを放し飼いにし、触れるようにしてほしい。

河野：いろいろな動物で、安全なものはいつでも触れるようにしてほしい。

樽本：サマースクール以外の日でも動物を触らせてもらったり、裏の方を見せてほしい。

司会：一日だけ動物園の園長さんになれたら何をしますか。

河野：いろいろな動物について飼育係の人に教えてもらって、あらゆる動物を飼育したり餌をやったりしたいです。

天藤：大人の方が動物をいじめたりしていても、子供やったら注意できないから、そんな人たちに注意をしたいです。



安藤 幸さん



志田道栄さん

樽本：飼育係の人にたのんで、その日来た人にサマースクールみたいに説明してあげようになりたいです。

§ 未来の動物園

司会：それではこのへんで未来の動物園について意見を言ってほしいと思います。

河野：動物にとって自然が一番いいから、動物園はいらないと思う。動物がかわいそうだ。動物は、テレビや写真で見ればよいと思います。

志田：テレビや写真では実際の動物の大きさが解らない。ゾウの大きさが解るためにも、実際に実物を見ることのできる動物園はいると思います。

河野：やっぱりがまんしたほうがよいと思います。ゾウなんかは泥をあびるのが好きなのに、動物園では洗ってきれいにしてからかわいそうだから、ほんとうに見たい人は



樽本祥子さん

志田：ゾウはインドでは木を運んだりして、こき使われるけれど、動物園ではかわいがってくれるから動物園のほうがよいと思います。

角田：トラなんかは、動物園では下がコンクリートだから、もっと下を土にしたり、草を植えたりして自然のままにしたほうがよい。

小林：動物たちと楽しく遊べるようにしてほしい。

樽本：私は動物園はあったほうがよいと思う。けれどもオリの中にとじ込めておくのはかわいそうだから。サファリみたいなほうがよいと思います。

天藤：大きい動物でも餌をあげられるようにして、

だれでも安心して動物を楽しむことができるようにしたらよい。

安藤：動物のオリがせまいから、もっと広くして、餌も見に来ている人がやれたりするようにしたい。

司会：もっと、もっと遠い未来、S.F.的な未来の動物園について、こんな動物園があったらいいと思うものはありませんか。

角田：動物説明機は、質問したらそれに答えてくれるような説明機があればよいと思います。

天藤：学校で6年生が、100枚ぐらいの画用紙を合わせて、未来都市の絵を書いたとき、動物園はカプセル状になっていて、カプセルは2つあって、それが動物園で、ライオンなどの肉食動物が1つのカプセルに入れてあって、もう1つのカプセルには小さい動物を入れてあった。その中に丸くなった通路が



天藤幸子さん

あって、歩いて見にゆくようになっていて、小さい動物のところには戸があって、餌をあげられるようになっていた。

志田：1匹しかいない動物は、さみしそうでかわいそうだから、人工でできた本物そっくりのロボット動物を作ったらよいと思います。

樽本：夢やまぼろしの動物も作って見せたらよいと思います。

司会：たとえばどんな動物ですか。

樽本：ユニコーンや人魚などです。

河野：動物のオリの前にボタンがあって、ボタンを押したら動物の成長とか一生が速く解るようにしたらおもしろい。

司会：それではいろいろ夢の動物園について話して

もらいましたが、最後に園長さんのお話を聞かせてもらいましょう。

園長：夢の動物園

について、いろいろ聞かせてもらいましたが、考え方がみなさんがたが若いだけに新しく、着眼点が違うようですね。

みなさん方は今日はよく来ていた

司会 宮谷尚子さん
できました。互いに話を出してもらい、いっしょになって動物園の仕事をしているボランティアの方々共々参考になりました。人間はやはり希望と目標に向かって努力してゆくことが、夢を現実化してゆくことだと思います。みなさん方の意見が1つでも実現するように努力してゆきたいと思います。またあなた方も次の時代をにうために努力して下さい。どうもきょうはありがとうございました。



司会 宮谷尚子さん



(文責：飼育課 榎原安昭)
写真撮影：大阪動物園 ボランティアーズ 宮川昭二)

府立大阪博物場の動物檻

— 天王寺動物園のルーツをさぐる —

の がみ まもる
堊 上 衛

1. 大阪における動物園的施設の始まり

今年(2015年)は日本の動物園100年の記念の年です。明治15年(1882)、東京の上野公園内に農商務省博物館附属動物園が開園し、現在の恩賜上野動物園の基礎となりました。

公開された近代動物園の最初は、フランス革命で王室薬草園が接収・拡充された自然史博物館に植物園・動物園が付設された1793年です。この流れは、世界に広まりました。わが国でも、明治4年(1871)に博覧会の一部が常設公開となった時以来、動物園的施設は継続してありましたが、動物園としての始まりは上記の明治15年です。

東京に続いて明治36年に京都市記念動物園が開園し、大正4年の大阪市立動物園(現在は大阪市天王寺動物園)は第3番目です。

ただし、大阪の場合は、その前身に当る動物園的施設が府立大阪博物場内にかなり古い時期に始まり、大正3年にその動物が市に継承されて翌年の開園となっています。したがって、公立では大阪市が最初です。同園のパンフレットに、次のようにあります。

前身は府立博物場附属動物檻 東区本町橋詰町にあった府立博物場に動物檻(堊上注：どうぶつかん)が設置されたのは明治17年。市内にはじめて動物園らしきものができました。

このことは、専門図書にも記されています。

1915年に開園した大阪市天王寺動物園は、大阪府博物場に併設されていた動物陳列所を引き継いだもので、そのはじまりは1884年(堊上注：明治17年)にさかのぼる。(『博物館学講座2』所収小森厚「動植物園・水族館史」)

明治17年に動物檻を新設したということは、『明治大正大阪市史 第1巻』(昭8)に始まり、『東区史 第1巻』(昭17)、『大阪市天王寺動物園50年のあゆみ』(昭40)に継承されていますが、それ以上詳しい事実は判っていません。

実は、『東区史 第2巻』1,047頁に、博物場の動物飼育(おそらく公開も)が明治15年にさかのぼることが次のように記されています。

明治15年頃既に東京博物館より借用の水牛二頭

をはじめ、羊・鹿・猪・熊・狸・鴨・家鴨・鴛鴦・小鳥・孔雀・鳩・インコ・鶯・鷹など八九十種の鳥獣類を飼育してゐた。

明治15年に刊行された『大阪名所案内』の「博物場」の項にも、次のように出ています。

場内宏大にして七箇の室(堊上注：建物です)を設け、…… 繁昌の坊間を徐歩するが如し 室外には四時の草木を栽へ、盆池に水上(みづあげ)機関を設け、禽獣を聚めて飼ひ……

博物場の動物檻の始まりの事情は、今後研究して行きますが、大阪にはこれよりなお前に別な動物園計画が2つありました。

1つは、幕末の動乱を避けた徳川幕府の理化学学校大阪設置計画を継承して、新政府が明治2年、舎密局(せいみきょく。京都大学教養部の前身)を大阪城西南に設けましたが、この時、わが国博物館の父といわれる田中義男が在勤して、植・動物園をも開設する計画をたてました。

もう1つは、慶応元年(1865)、薩摩藩(五代友厚が当事者)がフランスの有力者モンブランに注文した条項の中に、大阪に動物館を開く1項が含まれています。

この2つの計画とも実現しませんでしたし、後の博物館との関連も不明ですが、大阪の文化の厚さを感じさせます。ともかく、ここでは府立大阪博物場とその動物檻につき、見て行きましょう。

2. 府立大阪博物場とその動物檻

同場は、明治8年(1875)4月、府令第118号で設置されました。江戸時代の大阪西町奉行所跡すなわち現在の大阪市東区橋詰町、府立貿易館・大阪コクサイホテル所在地に、慶応4年(1868)以来大阪府庁があり、明治7年それが江ノ子島に移転した後を国から借用しました。敷地は、当初約3千坪のようです。

なお、当時は自治体としての大阪市はまだ存在せず、府が地方行政体でした。



上の府令の中に「大阪博物場概則」があり、「第1条 此会場ヲ創立スルハ、内外古今ノ物品ヲ陳列シ、歴代ノ沿革ト現今経済ノ形状トヲ徴シ、広く衆庶ノ縦覧ニ供シ、以テ知識ヲ進メ、商業ヲ競ハシムル為メナリ」とあります。生産者が品物を出品し、商取引も行われました。当初の目的は勤業であり、明治13年の国主催の綿糖共進会のような大きな会の会場となりました。同年、府立勤工場(明治11年設置)を、同性質の機関であるからと吸収・合併しています。明治23年に堂島に府立商品陳列所が設置されると、博物場は国内取引関係、商品陳列所は輸出入関係と分担したようですが、大正2年(1913)には商品陳列所を博物場に移転・新築して後者を合併する方針が決定され、同6年それが実現しました。商品陳列所は昭和5年(1929)、府立貿易館と改称し、現在に至っています。

上記の府令を見ますと、勤業のほかに、教養あるいはレクリエーション的な活動の可能性も感じられます。事実、博物場はこのような運営が強くなって行きます。明治10年に各学校生徒参観が始まり以後恒例化し、11年に学生・生徒は無料となりました。

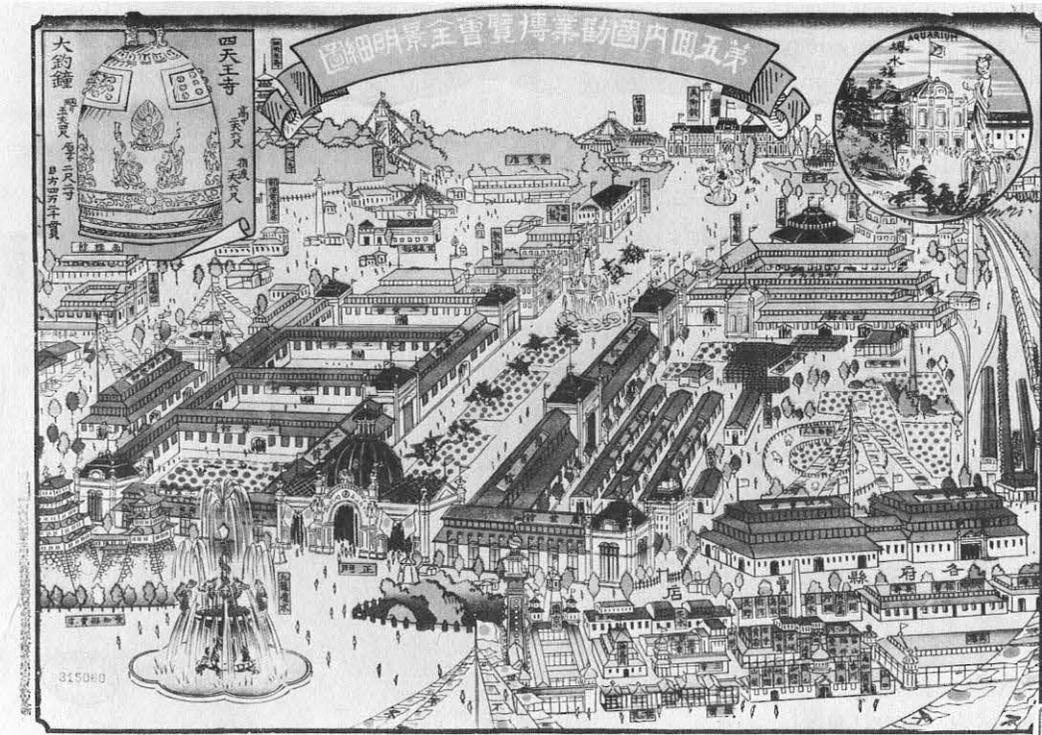
14年には中之島の府立教育博物館(明治11年設立)を合併・吸収し、動植物・金石・模型・物理機械・

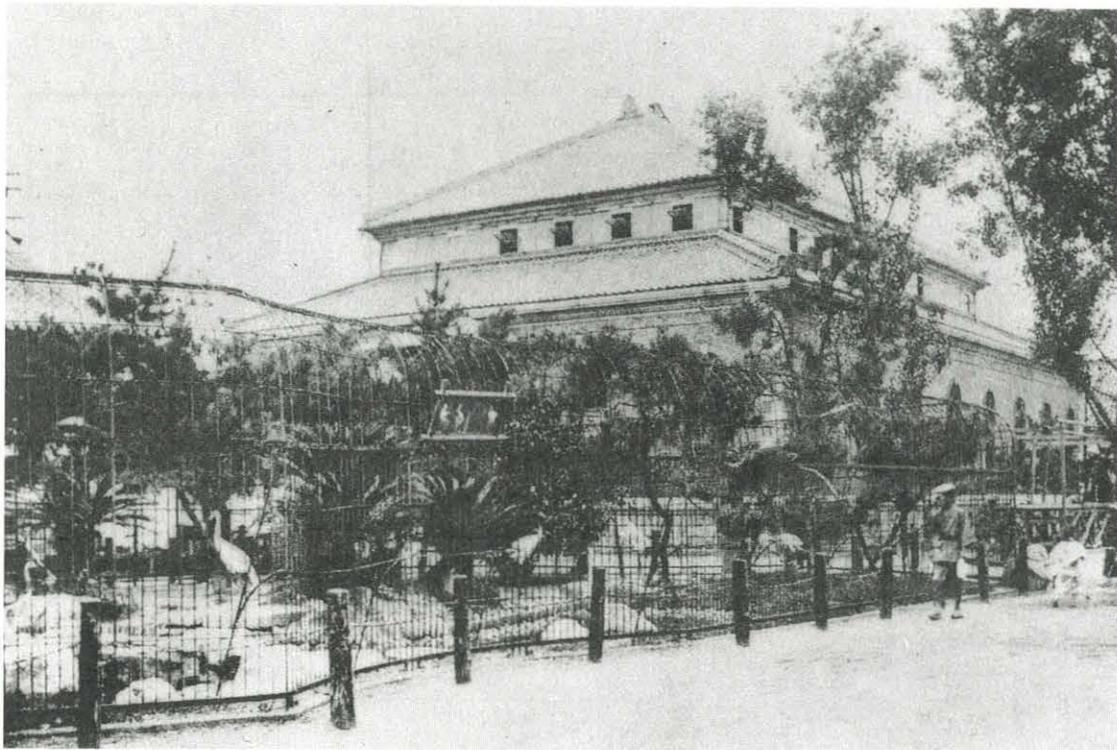
生徒成績物など910余点を継承しました。同年、中小学校生徒学事大共進会も始まります。新聞に、博物場で囲碁、煎茶、邦楽、美術などの集いがある記事が、多く出て来ます。明治19年—毎日開場、20年—午後10時まで開場、21年—煉瓦造198坪の美術館の新築、などとレクリエーション化が強まります。

明治36年に第5回国勸業博覧会が今宮・天王寺で開かれた時の『大阪と博覧会』という冊子に「大阪博物場」の項があって、次のように描いています。

表門を入りて突当りの煉瓦建は美術館なり 張天井には法隆寺、天王寺の古画を模写し、館内には常に美術品を陳列せる外、臨時に書画、骨董、工芸品の展覧会あり 館を出づれば前面の左右に第一、第二の売品室あり 日用の諸器具皆正札を附して客の需を待てり 此処を一覧して美術館の北側を進めば大広間、能舞台等庭池に面して立ち能狂言、音楽、抹茶其他の娯楽的集會又は社交會合は絶えず此裡に催されつつあり 池水は清くして魚躍り、噴水高く揚りて丘上樹下亭樹点々たり (この後に、場内動植物の記述が続きます。)

現府立貿易館の地にある「西町奉行所跡」の石碑には、「明治時代には市内随一の楽園大阪博物場がここに設けられた」の文も入っています。





計（判明年分の最高）ですが、なかなかの数です。

明治42年2月には、ドイツのハーゲンベック氏からライオン2頭（雌雄、各2才）を購入しています。

前々頁の写真は、明治42年2月2日朝日新聞の報道記事のものです。

同年7月31日未明、北区空心町2丁目のメリヤス製造業者から出火して1万2千余戸を焼いた大火災がありました。博物館は危く類焼を免れましたが、動物の扱いなど大騒ぎでした。動物園の新設の必要が痛感されました。

43年、府立農学校獣医産科第21回卒業生の林佐市は恩師飯島儀四郎の推薦で博物館に勤め、動物檻を担当しました。彼は、大阪市立動物園の初代園長となり、昭和18年の55才停年退職まで30年間活躍することになります。

4. 大阪市立動物園へ

大正3年6月、動物園設置の議案が市会に提出、可決されました。府立大阪博物館の動物などを継承し、天王寺公園内8千余坪に新設するものです。象ほか180点、建物3棟、飼養器具108点、医療器具88点、図書57点、計見積金額1万1千円ほどが移管されました。大阪市は、建設費4万8千円余（うち動

物購入費5千円）を支出しました。

大正3年9月起工、4カ月の短期間で完成しました。大正4年元日開園。

動物は大い牛車・大八車で運搬しましたが、象は歩かせるより方法がありません。松屋町筋は狭く昼は人出が多く、夜歩かせることになり、檻を出そうとしましたが動きません。サーカスにいたことから木やり音頭で囃そうという林技師の思いつきが当って歩き出し、天王寺まで3キロ余の道を10時間かかって到着しました。夜中でも多くの人が見物しました。園史に、そう記されています。

初年度入場者57万人。現在の年間250万人に比べれば少数ですが、新動物園への期待はかなり大きかったといえましょう。

（後記）本文中にあげた資料のほか、大阪市立中央図書館市史編集室のご好意で『大阪編年史』を参照させていただき、大阪府立中之島図書館で『大阪府会史』、諸新聞、博覧会資料などを閲覧し、本園の皆様にもご援助いただきました。各位に、御礼申し上げます。

博物館は興味深い問題を多く含んでおり、その究明を今後に期しています。

（近畿大学短期大学部教授）

すてき満喫 近鉄クレジットカード

- 全国の近鉄流通グループ・都ホテルチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただくだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い（リボルビング方式）・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。



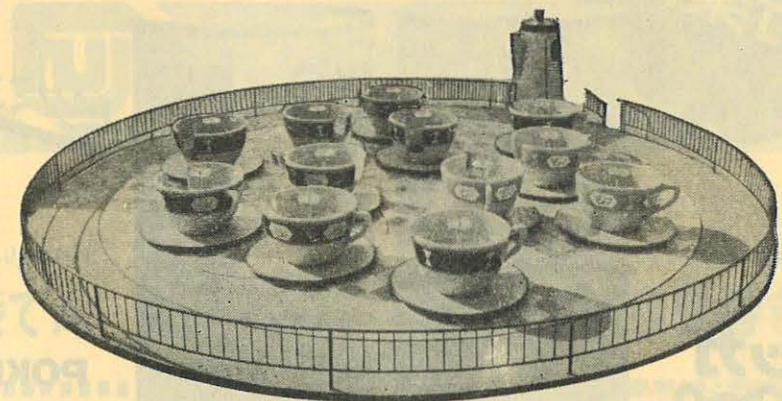
近鉄百貨店

お申込み・お問合せは **各店クレジットセンター**
 アベノ店 06(624)1111・上本町店 06(779)1231
 東大阪店 06(783)1111・奈良店 0742(33)1111

近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・枚方・和歌山・東京(吉祥寺)・四日市・松阪・伊勢・岐阜・徳山・別府

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娛樂株式会社

本社 工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
 電話 大阪(06)541-3112・3938番

動植物の生態をわかりやすく解いた楽しい幼児図鑑

こどものずかん

全 10 巻

●B5判・上製本・56頁

各巻定価650円

- ① みちかな どうぶつ
- ② のやまの むし
- ③ にわや かだんの はな
- ④ うみの いきもの
- ⑤ やさいと くだもの
- ⑥ どうぶつえん
- ⑦ のやまの くさき
- ⑧ みずへの いきもの
- ⑨ のやまの とり
- ⑩ きせつと しぜん

この図鑑は正確な絵と生態写真を使って幼児の観察力を養い育て、動植物への理解を深めるようにつくられています。カラーページには身近に見られる動植物を取り上げ、2色ページには観察や飼育・栽培をするときの心構えと要領がのっています。最寄の有名書店、百貨店で求めください。



ひかりのくに株式会社

〒543 大阪市天王寺区上本町3-2
☎(06)768-1151代表

◎ 動物のことなら あらゆることに
お役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写生会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

110 自然から学ぶおもいやり

株式会社 アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-498-5656

どうぶつの しゅうは いろいろ

〒661 尼崎市額田町2番3号

ポッカ コーポレーション



ポッカ
つぶちゃん
オレンジ



ビタミンC入り

POKKA

スポーツアルカリイオン飲料

C-500

NET 250g
標準小売価格 ¥110

NET 250g
標準小売価格 ¥100

誰が押しても



ただフィルムを差し込むだけです。

自動装てん



ピント合わせはカメラまかせです。

自動焦点

次々とシャッターを押すだけです。

自動巻き上げ

撮り終ると同時に巻き戻されます。

自動巻き戻し

フジカオート7デート
標準価格49,800円

(本体47,800円/ケース2,000円)
標準価格はメーカーが希望する標準的な小売価格です



大阪市天王寺動物園協会発行
「なきごえ」発刊200号特集記念

協 賛

獣医科 (イロハ順)

岩崎橋犬猫診療所

TEL (06) 551-1323
大阪市大正区三軒家西1-7-18
辻 栄重

奥村獣医科

TEL (06) 211-8941
大阪市南区島ノ内2-8-34
奥村 弘

高岡獣医科

TEL (06) 471-1672
大阪市西淀川区野里2-2-5
高岡 秀和

高瀬獣医科

TEL (06) 971-7927
大阪市東成区大今里4-27-25
高瀬 一行

谷町獣医科

TEL (06) 941-7693
大阪市東区谷町4-20
池尾 信一郎

鶴野獣医科病院

TEL (0722) 33-0372
堺市一条通18-8
鶴野 整 傳

浦東獣医科

TEL (06) 631-3331
大阪市浪速区恵美須西3-6-11
浦東 信夫

福留獣医科

TEL (06) 322-6290
大阪市東淀川区下新庄1-11-7
福留 慶彦

藤井寺動物病院

TEL (0729) 54-5630
藤井寺市御舟町1-3
是枝 哲世

芦屋家畜病院

TEL (0729) 22-3961
芦屋市打出小槌町46
岩崎 孝泰

境川獣医科

TEL (06) 582-0252
大阪市港区市岡元町1-1-1
松村 一 弥

東田獣医科

TEL (0726) 82-3297
高槻市名神町3-8
東田 和 弘

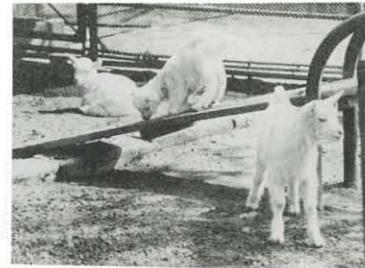
動物園ニュース

§ 出産シーズン幕明け!!

すっかり春らしく暖くなりましたが、この陽気につられ動物達の出産シーズンがはじまりました。口火を切ったのはヤギで2月15日にオス、28日にメス、3月15日にメスと3頭が生まれました。隣のヒツジ舎では同居しているトカラヤギに2月23日、メスの子供が生まれました。また2月18日、3月7日とヒツジにも2頭の赤ん坊ができました。

6頭の子供達が隣り合わせではしゃぎまわる様子はまるで幼稚園です。

また3月11日には野生のヒツジ、パーバリエーションにも赤ん坊が生まれました。性別はまだ判りませんがとても元気な赤ちゃんです。



§ 産卵はじまる。

哺乳類に負けじと鳥類の産卵もはじまりました。昨年産卵の続いているエミューですが、2月18日、25日に14卵目と15卵目が産まれ、また3月12日は初めてのヒナがかえりました。さすがに走鳥類



のヒナで、育雛室の中を走り廻っています。このヒナに続いて残りの卵も次々とかえるものと思われます。

先月号でお知らせしたワシミミズクに続いて、2羽目のメスが2月22日産卵し、すぐ抱卵をはじめました。また隣のフクロウ舎でも3月2日、14日と産卵が見られ、こちらも大変期待が持てます。

§ 新遊具完成

北園猛禽舎前で行なわれていた新遊具建設工事が終了し新しい遊具が完成しました。6人乗りの自動車、エアードンゴ、メリーゴーランドの3機種で、いずれも大変楽しそうな遊具です。この号が出る頃にはオープンしていますが大変な人気となることでしょう。

§ 移動郵便局開設

3月20日に上野動物園は開園100周年を迎えまし

た。つまり日本の動物園の歴史が始って100年を迎えたわけですがこの日を記念して記念切手が発行されました。そこで北園白雪姫時計横に臨時の移動郵便局が3月20日から3日間開設され、この記念切手やこれらの切手を貼り付けると天王寺動物園の園内地図ができあがるというイラストマップも合わせて販売され、入園者の人気を集めていま



した。

◎ 「なきごえ」通巻200号達成

昭和40年4月に創刊された当園月刊誌「なきごえ」が本号で丁度、通巻200号になりました。それを記念して表紙を初めてカラーにし、4ページの増頁としました。今後、300号、400号を目ざして内容の一層の充実と種々の企画で、読みやすく楽しい記事を掲載していきたいと存じますので、読者の皆様方のあたたかい御支援を今後共お願い致します。

現在の飼育動物数 (1982年2月28日現在)

哺乳類	102種	355点
鳥類	227種	788点
爬虫類	44種	97点
計	373種	1240点

休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。7月までの休園日は下記のとおりです。

4月19日(月)、5月17日(月)、6月21日(月)、7月19日(月)。

開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

なきごえ 昭和57年4月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

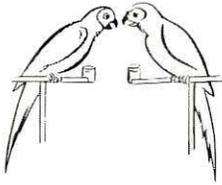
第18巻 第4号(通巻200号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823

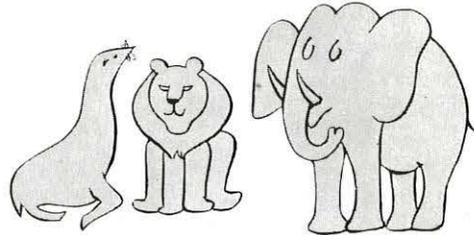
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信
 葭谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・高橋 真三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総